

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	建築の質感・色彩評価小委員会	主 査 名：北村薫子 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：明石 行生
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築設計や景観計画における色彩や質感の評価法の検討と提案</li> <li>・ 建築空間における色彩・模様・テクスチャの知覚効果の検討</li> <li>・ 都市・建築の色彩測定法の検討</li> <li>・ 景観色彩計画におけるカラーマネジメントの検討</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無	
	主査：北村薫子 (武庫川女子大学) 幹事：土屋潤 (九州大学) 委員：飯島祥二 (琉球大学), 池田圭介 (極東米海軍施設), 石田泰一郎 (京都大学), 稲垣卓造 (大同大学), 井上容子 (奈良女子大学), 熊澤貴之 (茨城大学), 神農悠聖 (大手前大学), 佐藤仁人 (京都府立大学), 中山和美 (東京電力), 名取和幸 (日本色彩研究所), 槇 究 (実践女子大学), 宮本雅子 (滋賀県立大学), 山本早里 (筑波大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築空間における色彩・模様・テクスチャの知覚効果検討 WG： 建築空間の表面特性の知覚効果の整理および定量化・設計資料化の検討 都市・建築の色彩測定法 WG： 建築および景観の色彩測定法の整理 景観色彩計画 WG： 伝建地区の調査やカラーパレット抽出等による景観色彩マネジメントの構築	
2016 年度予算	92,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	活動成果の公表に向けて、各 WG でこれまで蓄積した内容と不足する内容を整理し、次年度以降の活動の方向性を明確にした。また、景観における色彩マネジメントの現状、福祉の視点からみた色彩計画の現状などについて情報交換するとともに、近年のアプリケーションを用いた簡易的な色彩測定の情報信頼度を議論した。
委員会活動の問題点・課題	1. 定員により、小委員会としての新規委員公募が難しいこと。

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

## (中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	③	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2016年度の活動計画として挙げていた下記3点を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度に終了するWG（都市・建築の色彩測定法WG，景観色彩計画WG）の活動成果を中心とした小委員会シンポジウムまたは公開研究会のH29年度の実施に向けて活動内容を振り返り，各WGでこれまで蓄積した内容，および不足する内容を整理した。それに基づき，次年度以降の小委員会および新規設置WGの企画を行い，活動の方向性を明確にした。</li> <li>・伝統的建造物群保存地区の保存等のマネジメントについて知るとともに，その中における色彩計画の重要性を周知するための方策について議論した。景観保存のマネジメントの現状を委員で共有することで，アカデミックな視点のみで議論することなく，実状に即した色彩測定や色彩計画をするよう理解した。</li> <li>・福祉の視点からみた色彩計画の現状などについて情報交換するとともに，近年のアプリケーションを用いた簡易的な色彩測定の信頼度を議論した。</li> </ul> <p>昨年度から度々取り組んできた視環境設計小委員会内WGとのジョイント研究会およびジョイントシンポジウムについて，機会をみて情報交換を行った。しかし，具体的な活動がやや停滞ぎみであるため，相互に連携し計画的に活動機会をもつ必要がある点が反省点である。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。